

四国ブロック再犯防止シンポジウム 2023



この度、四国ブロック再犯防止シンポジウム2023を開催することとなり、ロゴを作成しました。

このロゴは、香川県の県木・花であるオリーブの枝が集まって作られています。

オリーブの花言葉は、「平和・知恵」です。

「平和」を得るために「知恵」を出し合うという点が、本シンポジウムの趣旨に一致していることから、オリーブの枝をモチーフとしました。

また、再犯を防止するためには、「刑事司法分野」だけではなく「雇用・社会福祉機関や地方自治体などの関連する行政機関」と「犯罪者の長期的な支援をする民間企業や地域ボランティアを含む地域社会」などとのマルチステークホルダー・パートナーシップを推進することが重要であるという本シンポジウムの副題について、3色のオリーブが交互に混ざり合い、補い合うことにより、支援の輪が繋がっていく様子で表現しています。

刑事司法における
マルチステークホルダー・パートナーシップの推進
高知地検の挑戦

令和5年度四国ブロック
再犯防止シンポジウム

12/2 | Thu.

13:00~16:00

(開場 12:00)

会場：レクザムホール

(香川県県民ホール小ホール)

参加無料・事前申込み要



【主催】

高松高等検察庁、高松法務局、高松矯正管区、四国地方更生保護委員会

誰一人取り残さない社会の実現へ

国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」に掲げられた「誰一人取り残さない」社会の実現のためには、SDGsゴール17にある「マルチステークホルダー・パートナーシップ」が重要になります。

犯罪をした者等の社会復帰と再犯の防止等の取組では、国・地方公共団体・民間協力者等の連携が重要なのです。

シンポジウムプログラム

- 13:00 開会挨拶（高松高等検察庁検事長 佐藤隆文）
13:05 来賓挨拶（香川県知事 池田豊人氏）
13:10 基調講演
「司法と福祉の架け橋—地域共生社会の実現に向けて—」
伊豆丸 剛史氏
13:50 休憩
14:05 パネルディスカッション

●パネリスト

- 筒井正人氏（高知県検察庁副検事）
寺西 晶氏（高知少年鑑別所長）
東山和憲氏
（四国地方更生保護委員会更生保護管理官）
徳弘博国氏
（社会福祉法人香美市社会福祉協議会生活相談センター香美所長、社会福祉士）
中城広紀氏
（社会福祉法人高知県社会福祉協議会
高知県地域生活定着支援センター所長）
公文一也氏
（高知県安芸福祉保健所健康障害課主幹）
山森涼平氏（法テラス安芸法律事務所弁護士）

●コーディネーター

- 平野美紀氏（香川大学法学部教授）

- 15:55 閉会挨拶（四国地方更生保護委員会委員長 辻 裕子）



【講師】

いづまる たかし

伊豆丸 剛史氏

厚生労働省社会・援護局総務課矯正施設退所者地域支援対策官



- 公共交通機関をご利用ください。
- レクザムホールに駐車場はありません。

シンポジウム一般参加のお申込み【申込期限11/30（木）】※定員になり次第受付を終了させていただきます。

①FAX 下記申込書にご記入の上→FAX 087-826-1283

氏名	ふりがな	職業	電話番号
住所	(〒 -)		

②MAIL ①氏名（ふりがな）②住所③職業④電話番号を記載の上、アドレス（ppo55-shikokusymposium.c4k@i.moj.go.jp）に送信

お問合せ先 四国ブロック再犯防止シンポジウム事務局 高松高等検察庁企画調査課内

【個人情報の利用目的・取扱いについて】お預かりした個人情報は、本シンポジウムの事前準備及び実施に関するのみに使用します。

↓お申込みフォーム↓



カメラアプリで読み込んでください。